

事例
研究高齡者の活躍が
企業の未来を切り拓く

少子高齢化に伴う労働力人口の減少は、企業の人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。本事例を足掛かりとして、高齢者を活用した人材確保にお役立てください。

一度、入社すると5年は辞めない
シニアが主力として活躍する

タキモビル株式会社は、札幌を中心に、機械式立体駐車場とコインパーキングの管理・運営業務を行っている。有人で管理している立体駐車場が9か所、コインパーキング等、無人の駐車場は約100か所ある。

有人管理している9か所の駐車場には、合計30名の従業員が勤務している。「30人のうち50代以下の従業員は2名だけ。残りの28名のうち60代以上の従業員は8名います」と教えてくれたのはパーキングマネージャーの大西昭仁さんだ。「シニアの方は、責任感が強いので助かっています。うちはチームワークを一番大切にしていますから、人生経験豊かでコミュニケーションが上手なシニアの方が多いというのは自然な流れなんです」と大西さん。

確かに札幌市就業サポートセンターに登録されている同社の求人票の「会社の長所」には「従業員満足が一番に考えた企業を目指しています。また当社はチームワークを大切に、互いを尊重し、働ける環境も大切にしています」とある。

コミュニケーションとチームワークが第一

タキモビル 株式会社

「今年の春に辞めた従業員は82歳でいままでの最年長です。70歳を過ぎて入社して10年以上働いたことになりました」（大西さん）。一度入社すると、最低でも5年は働く職場なのだという。

4か月前に入社されたばかりという三浦宏之さん（69歳）に伺った。三浦さんは60歳でサラリーマンを定年退職し、警備員として9年間働いてきた。「施設警備をしていたんですが、その仕事がなくなったため失職、いまはここで働いています」と三浦さん。

社長が毎朝、職場を訪問
給料も現金で手渡し

入社面接のとき、社長の滝本繁氏に「何年くらい働けますか」と問われたので「4～5年は働きたい」と答えたら、「そんなことを言わず、10年～15年くらいは、いてください」といわれたのだとか。この「いてください」という社長の言葉がうれしかったと三浦さんは言う。

「まだ4か月目なので、とても緊張しています。担当して



写真左) タキモビル株式会社の本社ビル 写真中) 代表取締役 滝本繁さん 写真右) 本社1階にある駐車場。チームワーク第一の活気のある職場

会社概要 【会社名】 タキモビル 株式会社
【所在地】 北海道札幌市中央区北1条西7丁目4番地
【代表者】 代表取締役 滝本 繁
【設立】 1972年7月

【業務内容】 1. 貸しビルの経営・管理
2. 立体駐車場の経営・管理・運営（サブリース含む）
3. 月極駐車場の経営・管理・運営
4. コインパーキングの管理・運営・施工・機器販売・除雪

5. マンション・アパートの経営・管理
6. 機械工具類のレンタル・修理

いる駐車場は2名でシフト制、つまりひとりで勤務しているの、責任が重大」と言う。ところが「毎朝、社長が専務が職場に来てくれ、いろいろと話をきいてくれる。不安なことや確認したいことに、きちんと答えてくれる」ので、確かに緊張はするけれど、「やることがわからない」ということにはならない。「社長(会社)が自分を信頼し、仕事を任せてくれているということが伝わってくる。この会社に入ってよかった。この人(社長)についていこう」と思ったそうだ。大西さんが補足する。「現場に任せはしますが、なにかあれば本社が全面的に応援します。電話が入ればすぐにかけつけますよ。任せっぱなしにはしません」。

なぜ毎朝現場に行くのか、最後に滝本社長に聞いた。

「従業員は直行直帰なので、こちらから行かなければ会えないんです。だから給料も毎月現場を訪ね、現金で渡しています。なにより、現場の声を聞かなければ現場で何が起きているのかわかりません」と言う。

社長が率先してコミュニケーションを大切にする企業は、従業員の満足度が高いということの、証左といえるだろう。

パーキングマネージャー 大西 明仁 さん

「現場から応援を要請されたらすぐに駆け付けます」。社歴28年になるベテランだが社員になったのは8年前という異色の経歴。「車が大好きでいろんな車を運転できることに惹かれて入社した」。



三浦宏之さん(69歳)

「コミュニケーションを大切にしている会社なので、働きやすい」と言う。また個人目標を全従業員が会社に提出し、共有しているのだとか。

いろんな目標を知ることによって向上心が刺激される。

社労士からひとこと!



社会保険労務士・
キャリアコンサルタント
産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

社長のフットワークの良さが組織に血を通わせる

「社長のフットワークの良さ」と「真心」はすごいですね。直行直帰が多く、給与も振込であれば、仕事は回るかもしれませんが、そこに「血」は通いません。

社長が各現場を回り、従業員と丁寧に会話をし、不安や不満を解消する。また、給与をわざわざ、現金の手渡しにするという事で、「血の通った組織」にしているのでは

ないでしょうか?

経理の方の手間を考えると経理ソフトを導入して自動振り込みにした方がはるかに手間は省けるはずなのですが、そこを敢えて手渡しをしている、そして渡すときに労いの言葉をかけるという今は殆ど見なくなったやりとり。ある年代の方には「理想」のような気がします。

高齢者雇用の求人募集は【就サポ】へ!

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら
就サポ 札幌市就業
サポートセンター

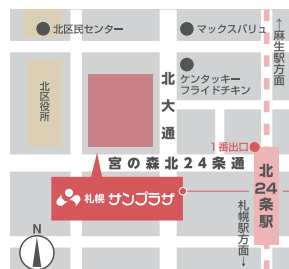
求人開拓室

☎ 011-708-7865

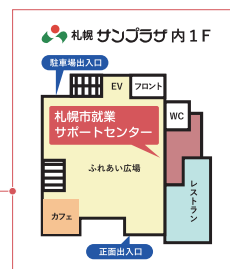
☎ 011-716-6811

《受付時間》平日8:45~17:00(土・日・祝日・年末年始除く)

就サポサービス情報サイト <http://saposen.co.jp/>



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンプラザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分



さっぽろ市
00-H00-00-0000
R0-0-0000

札幌市就業サポートセンターでは、札幌市が委託する民間職業紹介事業者とハローワークが共同で無料の職業紹介サービスを行っている全国で唯一の官民共同窓口です。職業紹介やカウンセリング、セミナーなどを組み合わせた多様な就労支援サービスを提供しております。